

令和5年度 八鹿高等学校学校評価

領域	項目	目標	評価 (4,3,2,1)	成果・課題・次年度への改善策	学校関係者 評価
学校経営	広報	本校の魅力ある教育活動が地域の理解を得られるように効果的な情報発信をする。	3.1	八高だよりやホームページの充実など成果が向上している。こうした内容を近隣中学校などにさらに積極的にアピールしていきたい。	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校として地元の高校に進学させたいと考えている。八鹿高校の良さをより一層アピールして欲しい。 ・オープンスクールに参加したが、生徒達の発言が少なかったのが気になった。また、参観しやすいように全ての教室の窓をしっかり開けて授業して欲しい。 ・八鹿には小学校、中学校、高校が近接している。小学校の児童、中学校の生徒が八鹿高校に行きたいと思える学校になって欲しい。
	ビジョン	文理探究科の方向を明確にし、さらに魅力的な今後の学校像を提示する。	2.9	文理探究科の全体像や探究活動の詳細をより明確にし、近隣中学校や養父市の教育関係者への周知を充実させる。	
学習指導	基礎学力	生徒の学力を伸ばす為にICT機器の活用等、授業の充実を図り、実力の底上げを図る。	3.0	ICT機器の活用について、教員間でデジタルデバイドが大きい。研修を通して効果的な活用ができるよう取組みたい。	<ul style="list-style-type: none"> ・学びの祭典を参観し、自分たちで調べ発表している生徒の姿を見て頼もしく思った。時間に限りがあり全ての発表を見ることができなかったのが残念であった。中学生も含め、より多くの人に聞いてもらいたいと思った。 ・次年度からできる文理探究科がどのように展開されるのか楽しみである。
	探究活動	探究的な活動を全校全教科に広げ、生徒の主体的で探究的な学びを習慣化する。	2.8	タブレットを活用しながら課題研究に取組めた。より組織的に取組み探究活動を推進したい。	
生徒指導	生活	いじめの未然防止と早期発見、早期対応とともに、規律ある学校生活の徹底を図る。	3.2	「いじめに関するアンケート」の実施など、早期発見や予防に一定の成果があった。今後とも生徒が安心して過ごせる環境を整えていきたい。	<ul style="list-style-type: none"> ・学校行事を参観すると先生達が学校づくりにベクトルを合わせ取り組んでおられるのが伝わってくる。先生達も楽しみながら行事を指導しておられるのがとてもよいと感じた。 ・学校の活性化のために部活動の活躍、学校行事の活性化に期待している。
	特別活動	学校行事、部活動の活性化を図る。	3.2	学校行事が面白くないと学校は盛り上がりがない意識を持って、改善に取り組むたい。	
進路指導	キャリア教育	卒業後自分らしい生き方を実現するために3年間を見通したキャリア教育を計画・実践する。	3.1	キャリア教育が系統立てられた進路計画で一定の成果を上げている。生徒減が進む中で進路実績の向上は大きな課題であるという意識を持って取組みたい。	<ul style="list-style-type: none"> ・少子化の影響を受け、入学者の定員を満たすのは難しいかもしれないが、入学した生徒をしっかり支援し、大きく伸ばす八鹿高校であって欲しい。
	進路実現	個々の進路の実現に向けてきめ細やかで粘り強い指導を実践する。	3.3	進路指導部・担任団の連携できめ細かい進路指導が行われている。粘り強く生徒の夢実現に取り組んでいきたい。	
学びを支える環境	健康	感染症流行下において、感染症の影響を最小限に止めつつ学校教育活動を継続できる環境を維持する。	3.3	感染症予防のための啓発活動など、一定の成果を上げている。また、オンライン授業も定着してきているので、感染症流行下においても教育活動を継続できる環境を作り上げていきたい。	
	生徒支援	課題等を抱える生徒の対応に組織的に取組む。	3.1	今後、課題を抱える生徒への対応が更に必要になることが予想される。こうした問題に対する支援組織の構築や教員の資質向上が必要である。	

【参考】 <目指す学校像と教育活動>

	目指す学校像	目指す教育活動
①	進路実現を目指す学校	個々の生徒の能力・適性の最大限の伸長
②	魅力的な学校	主体的、探究的な学びとはつらつとした部活・特別活動
③	地域を代表する学校	各界で活躍する人、地域のリーダーの育成

<スクール・ミッション>

「尋師訪友 克己勉勵」の理念のもと、協働して課題を解決する意欲と探究心を備え、明日の地域、世界を切り拓くことのできる人材を育成する。